



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
インターネットでも  
ご覧いただけます。  
身近な情報をお寄せください。

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468  
市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

### 議会の内外で身近な要望をつなぐ

共産党  
市議団

## 肺炎球菌ワクチンの接種を

6月議会で福田明議員は肺炎球菌ワクチン接種の実施を市に要望しました。

「肺炎は日本の死亡原因の第4位となっている。ほとんどが高齢者で、その半分以上が肺炎球菌によるも

のである。肺炎球菌にはワクチンがあり、この接種を進めることによって、高齢者の肺炎患者を減少させ、医療費の削減にも効果があることが、アメリカでの調査や、国内の実施自治体で実証済みである。高萩市でも今年度から、接種費用7千円のうち、市が3千円の助成を実施する。対象者は

70才以上で、予算規模は30万円、100人分となっている。ぜひ本市でも実施すべきである」と質問。

担当課では、「県内の他の市の動きを見たうえで検討したい」と述べました。

南中郷駅は、ホームと列車の間が広くあいていて、日頃から不安を感じているという方が少なくありません。下記の知事と語る会でも、改善を求める声が出されました。

## 南中郷駅ホームの安全確保

これを聞いて、さっそく日本共産党市議団として調査をし、駅長に要望を伝えました。駅管理者としては、注意喚起のための張り紙でひとまず対処し、構内放送については要望として水戸支社に伝えるとのことでした。また、ホームの改



南中郷駅のホームと列車とのすき間

修工事には大きな予算処置が必要で、いま県の南部分から、1年に1〜2ヶ所ずつ段差改修の工事をおこなっているとのこと。

## 知事と語る「明日の茨城」

6月30日、県知事と語る会が市民ふれあいセンターで開催されました。参加者は110名。県知事からの報告につづいて質疑応答がありました。

統廃合される北高の跡地利用は、地元の意見も入れて検討していくとの答弁でした。また、産科医不足についての質問には、県としても医師確保には苦慮して



おり、支援はしていくと述べていました。その他、農業後継者問題や大北川の土砂浚渫、高萩市の産業廃棄物業者についてなど、熱心な質問が出されました。

## 普通救急救命講習会

参加  
記

普通救急救命講習会が中郷多目的集会所にて開かれました。年に2回、市の南部、北部地域に分かれてお

こなわれる講習会の1回です。20人ほどの参加者のなかには、高校生のグループもみられました。

救急車が来るまでの北茨城市の平均時間は、全国平均より少し長く7分。心臓の鼓動がみられなくなつてからは、初めの3分、5分

が大事で、このときの処置が救命率に決定的な影響を及ぼすことが説明されました。いま、そうした認識

が、AEDという有効な機器の普及と相まって急速に広まりつつあります。茨城県では、すべての県立高校にAED設置を決めました。この数年間で複数の死亡事故があったことが背景となつています。

講習会で、一連の動作を体得しておくことで、いざというとき役に立ちます。はじめて疑似救急体験にふれてみて、だれでも知つていて良い処置、知つていべき処置との思いを強くしました。(鈴木やす子記)



## トライアスロン

競技エントリー者は107人。優勝は、高橋功さん(土浦市)、女性1位は斉田洋子さん(大洗町)。北茨城市内からの参加は3人でした。

また、457名(一般 351名、市職員 106名)のボランティアが大会を支えました。